

白浜町 議会だより

No. **69**

令和5年(2023)8月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会

CONTENTS

令和5年第2回定例会	2
ピックアップ記事	4
一般質問	6
町議会・町議会議長の主な動き	10
政務活動費の実績報告	10
次回定例会日程など	背表紙

(番所山公園からの円月島)

▷▷ 令和5年第2回定例会 (6月6日～6月21日)

6/6	<p>第1日【開会、町長挨拶、議案の提案理由説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定 ・議案の提案理由説明（報告4件、条例改正2件、補正予算4件、その他4件）
6/15	<p>第2日【一般質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松田議員、黒田議員、横畑議員、堅田議員 ※P6～P8に内容記載
6/16	<p>第3日【一般質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水上議員、廣畑議員、溝口議員 ※P8～P9に内容記載
6/20	<p>第4日【議案審議、追加議案の提案理由説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案審議（報告3件、条例改正2件、補正予算4件、その他4件） ・追加議案提案理由説明（補正予算1件）
6/21	<p>第5日【議案審議、閉会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案審議（報告1件、補正予算1件） ・発議案件（議員派遣1件、閉会中の継続調査申出1件）

条例改正

○白浜町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

子ども医療費の支給対象を拡大するため、関係規定を改正。

○白浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、関係規定を改正。



補正予算

○令和5年度白浜町一般会計補正予算（第2号）

・既定予算への補正額

4億1370万円

・補正後の歳入歳出予算総額

122億6520万円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

・地域交通事業等確保維持支援事業（地方創生臨時交付金活用事業）

1460万円

・コミュニティ助成事業

250万円

【民生費】

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業（地方創生臨時交付金活用事業）

1億2941万円

・保育園等給食費無償化事業

（地方創生臨時交付金活用事業）

394万円

・民間保育園物価高騰対策補助事業（地方創生臨時交付金活用事業）

150万円

【衛生費】

- ・し尿処理施設用地取得事業

1億8369万円

- ・水中ポンプ入替事業

654万円

【農林水産業費】

- ・燃油価格高騰対策支援事業

- ・地方創生臨時交付金活用事業

432万円

【観光費】

- ・燃油価格高騰対策支援事業

- ・地方創生臨時交付金活用事業

378万円

【教育費】

- ・幼稚園、小・中学校給食費無償化事業（地方創生臨時交付金活用事業）

4870万円

○令和5年度白浜町一般会計補

正予算（第3号）

- ・既定予算への補正額

100万円

- ・補正後の歳入歳出予算総額

122億6620万円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

- ・弁護士委託料

100万円

○令和5年度白浜町国民健康保険

- 事業特別会計補正予算（第1号）

既定予算への補正額

▲243万4千円

補正後の歳入歳出予算総額

28億2556万6千円

○令和5年度白浜町後期高齢者

医療特別会計補正予算（第1号）



- ・既定予算への補正額

▲113万5千円

補正後の歳入歳出予算総額

34億6186万5千円

○令和5年度白浜町介護保険特

別会計補正予算（第1号）

- ・既定予算への補正額

106万3千円

補正後の歳入歳出予算総額

6億7426万3千円

○令和5年度白浜町介護保険特

別会計補正予算（第1号）

- ・既定予算への補正額

▲113万5千円

補正後の歳入歳出予算総額

34億6186万5千円

○令和5年度白浜町介護保険特

別会計補正予算（第1号）

- ・既定予算への補正額

106万3千円

補正後の歳入歳出予算総額

6億7426万3千円

○令和5年度白浜町介護保険特

別会計補正予算（第1号）

- ・既定予算への補正額

106万3千円

補正後の歳入歳出予算総額

6億7426万3千円

契約の締結

○塵芥車購入事業に係る物品購入

【品名・数量】

塵芥車 1台

【契約金額】

693万9千900円

【契約の相手】

田辺市東山二丁目31番15号

和歌山三菱ふそう自動車販売

株式会社

取締役社長 鈴木 恭一

○水槽付き消防ポンプ自動車更

新事業に係る物品購入

【品名・数量】

水槽付き消防ポンプ自動車

1台

【契約金額】

5830万円

【契約の相手】

西牟婁郡上富田町朝来字里田

1407番地の4

和歌山日野自動車株式会社

田辺支店

支店長 田中 勝則

○消防車両更新事業（白浜支団

第13分団・日置川支団第14分

団）に係る物品購入

【品名・数量】

小型動力ポンプ積載消防自動

車 2台

【契約金額】

2195万6千円

【契約の相手】



田辺市高雄三丁目21番14号

有限会社ワカボ

代表取締役 川崎 修司

○専決処分の報告について

○令和4年度白浜町繰越明許費

繰越について

○令和4年度白浜町水道事業特

別会計予算繰越について

○令和4年度白浜町土地開発公

社経営状況の提出について

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

報告

白浜町DX推進体制について

全員協議会

◆事業概要

DXとは、「情報通信技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向へと変化させること」と定義されており、「行政サービスにデジタル技術やデータを活用し、住民の利便性を向上させるなど、「自治体DX」の推進が求められている。

町においても、自治体DXの推進体制を整備し、デジタル技術を活用した業務の効率化、行政サービスの向上に努めている。

問 令和4年度から、地域活性化起業人制度を活用し、町にデジタル人材を登用するなど、自治体DXの推進に取り組んでいることと思われるが、これまでの活動実績や今後の取組予定について伺う。

答 自治体DXの推進に向けては、行政だけでなく町全体として取り組んでいくことが重要であり、昨年は、町内各種団体等と連携し、DXの基礎的な共通理解の形成、意識醸成に取り組んだところである。

引き続き、住民の皆様の生活がより便利で豊かになるよう、デジタル技術も活用しながら行政サービスの向上に取り組んでいく。

学校給食費等無償化事業

4852万円

第2回定例会

◆事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、食料料費等の物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯の負担軽減を目的として、学校での給食費等に対する無償化事業を実施し、保護者負担の抑制を図る。

◆対象

- ① 町内の小学校・中学校に通う児童・生徒
- ② 町外の小学校・中学校に通う児童・生徒

◆事業費

- ① 4549万2千円
- ② 302万3千円

◆対象期間

令和5年9月～令和6年3月まで

問 国や県の動向を見ながら将来的な完全無償化を視野に入れ、少しでも給食費が安くなるような取組が必要と考えるが、いかがか。

答 他の市町の取組なども参考にしながら、町として独自の施策が実現できるよう取組を進めていきたい。

保育園等給食費無償化事業

562万円

第2回定例会

◆事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、食料料費等の物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯の負担軽減を目的として、保育園・幼稚園等での給食費等に対する無償化事業を実施し、保護者負担の抑制を図る。また、給食材料費等の物価高騰分に対し、私立保育施設への補助を行う。

◆対象等

- ① 給食費無償化事業分
350名（保育園・幼稚園（私立を含む）等に通う園児（町内在住3～5歳児）
- ② 給食材料費等物価高騰対策補助事業分
2施設

◆対象期間

- ① 令和5年9月～令和6年3月まで
- ② 令和5年度



<p>住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業</p> <p>1億2941万円</p> <p>第2回定例会</p>	<p>◆事業概要 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、1世帯あたり3万円を給付する。</p> <p>◆対象者 ①令和5年度住民税非課税世帯（確認書による支給） ②家計急変世帯（申請書による支給）</p> <p>◆スケジュール （確認書の発送） ・令和5年7月下旬 （申請受付期間） ・令和5年7月下旬～令和5年10月2日 （給付金振込開始日） ・令和5年8月中旬</p> <p>◆問 家計急変世帯に該当する場合、申請書の提出が必要となるが、対象世帯への周知をどのように行っていく予定か。</p> <p>◆答 7月の町広報に給付金に関するチラシを折り込みし、周知させていただく。</p>
<p>燃油価格高騰対策支援事業 （貨物自動車運送事業者）</p> <p>378万円</p> <p>第2回定例会</p>	<p>◆事業概要 コロナ禍等による燃料価格の急激な高騰の影響を受けている町内貨物自動車運送事業者へ補助金を交付することにより、経営の負担緩和を図る。</p> <p>◆対象事業者 町内に本社、支社、営業所等を有する貨物自動車運送事業者（貨物自動車運送事業に必要な許可等を受けている事業者）で、今後も交付対象車両を所有し、貨物自動車運送事業を継続する意思があるもの。</p> <p>◆補助額 ①普通自動車・小型自動車 1台あたり5万円 ②軽自動車 1台あたり3万円 ※補助金の交付は、一対象事業者につき1回限りとする。</p> <p>◆事業費 378万円（内、国庫補助金300万円）</p>
<p>燃油価格高騰対策支援事業 （施設園芸農業者・漁業者）</p> <p>432万円</p> <p>第2回定例会</p>	<p>◆事業概要 コロナ禍における燃油価格の高騰が経営の大きな負担となっている施設園芸農業者と漁業者に対して、燃油購入費の一部を助成することで負担の軽減を図る。</p> <p>◆施設園芸農業者 （補助予算額）183万1千円 （補助対象燃油）灯油、重油 （補助算定期間） ・令和4年10月1日～令和5年5月31日まで （補助額） ・燃油購入費30万円以上に対し、購入費の1割相当額（上限30万円）</p> <p>◆漁業者 （補助予算額）249万円 （補助対象燃油）軽油、重油、ガソリン （補助算定期間） ・令和4年4月1日～令和5年3月31日まで （補助額） ・燃油購入費30万円以上に対し、購入費の1割相当額（上限30万円）</p>

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について質問を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すことをいいます。

○松田 剛治 議員 (6 ページ)

- ①誰もが一緒に楽しく遊べる公園の整備について
- ②熱中症対策の推進について
- ③支え合う地域社会の構築について

○黒田 武士 議員 (7 ページ)

- ①公衆トイレの環境整備について
- ②白良浜のユニバーサルビーチ化について
- ③ヘルプマーク・ヘルプカードについて

○横畑 真治 議員 (7 ページ)

- ①地域交通について
- ②今後過疎化の進む問題点について
- ③今後のコロナ対応について

○堅田 府利 議員 (8 ページ)

- ①町の少子化問題及び子供たちの学校生活等の現状について
- ②町の商工振興について

○水上 久美子 議員 (8 ページ)

- ①マイナンバーカードの行政サービス問題について
- ②大雨、線状降水帯予報と緊急安全確保など近年の気象情報と児童生徒の安心安全の確保について

○廣畑 敏雄 議員 (9 ページ)

- ①健診について
- ②子育て支援について

○溝口 耕太郎 議員 (9 ページ)

- ①高齢者の交通手段について
- ②観光施策について



まつだ たけはる
松田 剛治 議員

QRコードの有効
期限は9月下旬まで



(移動支援のイメージ)

問

支え合う地域社会の構築に向けた取組は

答

地域で支え合える体制づくりに努めていく

問 高齢者等の移動支援として、スーパ一等の商業施設への送迎用デマンド交通の整備も有意義と考えるが、見解を伺う。

答 令和2年度より紀南地方老人福祉施設組合の空き車両を活用した移動支援を実施している。他の地域でも企業や地域住民の協力を得られれば取組を進めたい。

問 ヤングケアラーの実態に即した家事支援制度などの体制整備が必要と考えるが、見解を伺う。

答 不登校などの相談支援のなかで実態が見えてくることもあり、学校生活の場や地域での「気づき」が重要であると考え。常に学校など関係機関等との連携を図っており、今後も気軽に相談いただけた体制づくりに努めたい。

誰もが楽しく遊べる公園の整備

問 平草原公園の整備に併せて、障がいのある無や年齢、性別などを問わず、誰もが一緒に楽しく遊べる公園の整備についてはどうか。

答 平草原公園に限らず公園等を整備するうえで、すべての人が楽しめる公園となるよう取り組んでいきたい。

熱中症対策の推進について

問 今後予想される電気代等の高騰対策として、低所得者等への支援が必要と考えるがいかがか。

答 今後も電気料など物価高騰が続く、国から対策を講じるための補助金や交付金制度が示されれば、町でも積極的に活用し、低所得者等への支援を実施したい。



くろだ たけし
黒田 武士 議員

QRコードの有効
期限は9月下旬まで



問 健康な方も障がいのある方も楽しめるビーチづくりや周囲の環境整備について、町の考えは。

答 一般社団法人南紀白浜観光協会なども協力しながら、「訪れた誰もが楽しめるビーチ」づくりに取り組んでいきたい。

公衆トイレの整備について

問 地元の方や訪れる観光客の皆様が気持ちよく利用できるトイレの整備について、町の考えは。

答 利用者の方々が気持ち良く利用できるような適正な維持管理等を行うとともに、新設や改修の際には、より一層快適に利用できるように取り組んでいきたい。



(水陸両用の車いす)

ヘルプマーク・ヘルプカードについて

問 現行のヘルプマークより個人情報保護が保て、機能的な町独自のヘルプカードホルダーを検討しているかがかか。

答 ヘルプマークはストラップとして衣服やバック等、身につけることで周囲に配慮が必要なことを伝えるもので、ヘルプカードを別に所持する必要がある。ご提言のヘルプカードホルダーについては、県内市町村の状況なども踏まえ検討していきたい。

問 白良浜をユニバーサルビーチへ

答 訪れた誰もが楽しめるビーチづくりに努める

問 管理の行き届いていない空き家への対応は

答 空家法の改正内容等に応じ取り組んでいく



よこはた しんじ
横畑 真治 議員

QRコードの有効
期限は9月下旬まで



問 少子高齢化の進展や人口減少などを背景に、管理の行き届いていない空き家が増加の一途をたどっている。崩壊の恐れなど、緊急に安全措置が必要な空き家については、町独自の対策が必要と考えるが、今後の対応への考えは。

答 改正された空家法の内容を精査し、国・県・近隣市町の動向を注視しながら、空家法上の手法を利用して対応を行っていきたい。

地域交通について

問 公共交通が少ない地域における地域交通の在り方や今後の取組について伺う。

答 限られた財源の中ではあるが、最小の経費で最大の効果を上げられるよう地域公共交通計画に掲げ

今後のコロナ対応について

問 コロナの5類感染症移行に伴い、今後の町営公衆浴場の運営はどうなるか。

答 6月1日から、午前の部は引き続き町内在住の方、午後の部は制限なくご利用いただけるように変更している。

問 コロナの後遺症が残る方に対する相談体制や支援など、今後の町の対応は。

答 かかりつけ医等の医療機関に直接ご相談いただくか、相談先に迷う場合は、和歌山県が設置する専用相談窓口、コールセンターをご活用いただきたい。



(空き家問題のイメージ)

問 中小企業振興に向けた町の取組は

答 商工会等と連携し、魅力ある観光地を創出

問 白浜町商工会では新たなニーズに 대응するため、会議室の開放、チャレンジショップエリアの設置などに取り組む予定としているが、これらの取組に対して町も支援、連携してはいかがか。

答 コロナ禍において、来るべき時に備え事務局レベルにおいて随時意見交換などを実施し、気づきも多くあったと聞いている。商工会だからできることや行政だからできることなど、役割分担を再認識し、より一層強固な協力関係を築いていきたい。

少により廃校となる小学校もできています。少子化の現状を町はどう捉えているか。

答 出生数が約30%減少するなど、10年前と比較して町の人口が約2300人(約10%)減少しており、少子化対策は喫緊の課題であると認識している。

問 少子化対策として、それぞれの町の課題に対応した独自の取組が必要と考えるが、町の対策について伺う。

答 子育て世代への支援の充実を図るため、本年10月1日から子ども医療費の対象年齢を18歳まで拡大する予定としている。今後も、子育て世代のニーズに対応した施策の推進を図っていきたい。

町の少子化問題及び子供たちの学校生活等の現状

問 一学年の生徒数が10人に満たない学年や、小学校全児童数の減



かたた あつし 堅田 府利 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(白浜町商工会)

問 警報等発令時の児童生徒の安心安全確保は

答 自助・共助の意識を育てる防災教育を実施

問 避難所への避難に支援を要する要支援者情報の再確認や避難経路の見直しはできているか。

答 町が作成した避難行動要支援者名簿を関係機関等に提供し、日頃からの声掛けや避難ルートの確認等に活用いただいている。

どもたちの危険箇所の認識と命を守る防災学習が必要ではないか。

答 現在、危険箇所の把握や防災教育と実践的な避難訓練に取り組んでいるところであり、今後も、自助・共助の意識を育てる防災教育に取り組んでいきたい。

問 大雨による土砂災害警戒区域の危険箇所の再検証は。また、線状降水帯の予測情報の活用は。

答 県が行う危険箇所の見直しを反映し、今年度に土砂災害ハザードマップの修正を予定している。予測情報については、速やかな避難所開設や防災行政無線等を通じた防災対策へ活用を図りたい。

マイナンバーカード

問 マイナンバーカードの交付率、件数の現状は。今後、運転免許証などの用途拡大情報があるが、見通しと町独自の活用予定を伺う。

答 5月末現在、交付件数が15034件、交付率は約72%となっている。用途拡大については、今後、国の動き等を注視し適切に対応していく。町独自の活用についても、今後、検討を進めていく。

問 児童生徒の安心安全には、子



みづかみ くみこ 水上 久美子 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(警報等発令時の児童生徒の安心安全確保について)

問 子育て支援として給食費無償化の実現は

答 財政的な課題もあり、現在のところ困難

問今回、県における子ども食堂整備に関する方向性が示された。幼児期や学童期の食事習慣が生活リズムを作ると言われているが、町の子ども食堂への考えと子育て世帯生活支援特別給付金の状況について伺う。

答子ども食堂開設に向けたご相談があれば、県の補助制度をご案内するなど、開設に向けた支援をしていく。また、令和5年度子育て世帯生活支援特別給付金は、307世帯、対象児童数508人への給付を見込んでいます。

問子育て世代は、教材費、制服、体操着、学用品、給食費等の負担があり、なかでも給食費は、子ども1人年間5万円弱、2人では約

10万円の負担となる。家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもが健やかに成長していくためには、政策として給食費無償化への取組が必要と考えるが、いかがか。

答給食の無償化については財政的な負担が大変大きく現在のところ考えていないが、引き続き保護者の方々にご理解をいただきながら、安心安全な学校給食の提供に取り組んでいきたいと考える。

また、今議会で交付金を活用した令和5年9月から令和6年3月までの学校給食無償化事業等について、補正予算を上程している。

このほか、廣畑議員は「健診について」質問しました。



ひろはたとしお 廣畑 敏雄 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(園庭で遊ぶ子どもたち)

問 新たな患者送迎サービスの実施見通しは

答 白浜はまゆう病院で令和5年10月運行開始予定

問以前の一般質問の答弁の際には、町が事業に要する費用の一部を補助していくことで、白浜はまゆう病院が新たに計画する患者送迎サービス運行事業の実現に向けて取り組んでいくとのことであったが、事業実施の見通しはどうなっているのか伺う。

答白浜はまゆう病院において、車両の調達作業や運行業務の事業者選定作業が進められており、令和5年10月1日を目途に事業開始を予定されている。

問患者送迎サービスを利用するためには、白浜はまゆう病院への登録が必要であるか。また、登録基準などを設ける予定はあるのか伺う。

答患者送迎サービスは、白浜はまゆう病院に通院される方が利用することになるので、白浜はまゆう病院から利用者に対して、登録手続きなどを求める予定はないと聞いている。

問患者送迎サービスの運行対象地域はどこになるのか。

答送迎地域は富田地域を主としており、南白浜、北富田、富田、樺地区までを予定している。ただし、西富田地域の才野、堅田地区は、送迎地域から除いている。

このほか、溝口議員は「観光施策について」質問しました。



みぞぐちこうたろう 溝口 耕太郎 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(現在運行中のシャトルバス)

5 月		4 月	
31日	● 白浜町英霊顕彰会理事会	25日	● 第1回臨時会 ● 全員協議会
30日	● 議会運営委員会	23日	● 白浜町交通指導員会総会
29日	● 2023年原水爆禁止平和行進	19日	● 日神社例大祭
	2023 開会式	18日	● 議会運営委員会
27日	● H I K I O P E N T E N N I S	13日	● 子育て支援センタープレオープン
23日	● 全国町村議会議長・副議長研修会	12日	● 議会広報特別委員会
16日	● 全員協議会	1日	● 阪田祭祀遺跡式典
11日	● 春の全国交通安全運動出陣式		
8日	● くまのつ子児童家庭支援センター のこのこ開所式		
3日	● 海開き・安全祈願祭神事式典		

<令和4年度 交付実績>

議員名	項目	調査 研究費	研修費	広報・ 広聴費	資料 購入費	事務費	合計	交付額
長野 莊一		0	0	0	65,417	0	65,417	65,417
堅田 府利		0	83,500	0	21,600	0	105,100	105,100
溝口 耕太郎		0	0	11,425	63,100	107,528	182,053	180,000
正木 秀男		0	0	0	21,600	76,467	98,067	98,067
廣畑 敏雄		0	0	16,893	40,800	5,035	62,728	62,728
横畑 真治		0	0	87,089	0	0	87,089	87,089
西尾 智朗		0	0	0	42,000	0	42,000	42,000
水上 久美子		95,670	33,870	0	60,600	0	190,140	180,000
松田 剛治		0	32,520	0	0	0	32,520	32,520
小森 一典		0	0	0	40,800	0	40,800	40,800
黒田 武士		0	0	0	0	0	0	0
辻 成紀		0	10,220	0	5,700	0	15,920	15,920

町議会・町議会議長の主な動き（4月～6月）

6 月

- 1日 ● 白浜まつり神社式典・献湯祭
- 6日 ● 第2回定例会（第1日）
- 全員協議会
- 総務文教厚生常任委員会
- 観光建設農林常任委員会
- 7日 ● 第61回和歌山県美術家協会展
「第30回白浜展」開会式
- 15日 ● 第2回定例会（第2日）
- 議会運営委員会
- 16日 ● 第2回定例会（第3日）
- 議会運営委員会
- 17日 ● 白浜町シルバー人材センター定時総会
- 19日 ● 白浜町交通安全対策推進協議会総会
- 20日 ● 第2回定例会（第4日）
- 議会運営委員会
- タブレット講習会
- 21日 ● 第2回定例会（第5日）
- 議会運営委員会
- 議会広報特別委員会
- 23日 ● 白浜町食中毒等予防対策本部会議
- 28日 ● 南紀白浜空港利用促進期成会総会
- 29日 ● 白浜町生活安全推進協議会総会
- 30日 ● 田辺周辺広域市町村圏組合議会

政 務 活 動 費

政務活動費とは、地方自治法や条例に基づき、議員が調査研究等の活動を行うために必要な経費の一部として交付されるものです。白浜町では、1年間に議員1人あたり18万円を上限として交付されています。

また、本町議会では、議会改革及び議会の透明性をより高めるため、令和3年度から、交付方法を「先払い方式」から「後払い方式」に変更しています。

—政務活動費はこのような経費に使用できます—

研修費

団体等が開催する研修会、講演会等への参加に要する経費等（研修会参加にかかる会費、交通費、宿泊費等）

資料購入費

議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用に要する経費（書籍購入費、新聞購読料“2紙目以降”等）

調査研究費

議員が行う町の事務、地方行財政等に関する調査研究に要する経費等（調査にかかる交通費、宿泊費等）

広報・広聴費

議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費（資料等の印刷製本費、会場費等）

事務費

議員が行う活動にかかる事務の遂行に要する経費（事務用品・備品購入費、通信費等）

9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5 第1日 提案説明	6	7	8	9
10	11	12	13	14 第2日 一般質問	15 第3日 一般質問	16
17	18	19	20 第4日 議案審議	21 第5日 議案審議	22	23

※次回の定例会は、9月5日から9月21日まで開催予定です。
詳しい日程などは、議会事務局までお問い合わせください。

議会を“見て”

本会議などの様子をインターネットで録画配信しています。



録画配信HP

議会を“聞いて”

一般質問の様子をFMビーチステーションで放送しています。



FM放送予定

議会を“知って”

過去の議会だよりについても、ホームページでご覧いただけます。



議会だよりHP

議員研修（タブレット講習会）



令和5年6月20日（火）に、議会ICT化の取組として、議会ペーパーレス化に向けた、タブレット講習会を開催しました。

議員研修（自治体DX入門セミナー）



令和5年7月3日（月）に、和歌山県・市町村DX総括アドバイザーの菅原氏を講師に迎え「自治体DX」をテーマに講演いただきました。

編集 後記

近ごろ、異常気象による想定外の被害が各地で発生しており、台風シーズンを迎えるにあたり、自然災害に対する備えが求められます。また、昨今、全国各地で発生している地震は、この地域で近い将来発生が危惧される南海トラフ地震への警鐘を促しているように思われます。

行政においても、住民の生命、財産を守るため、最優先の課題に位置付けると

ともに、公共施設の整備をはじめ、平素からの危機管理への取組や住民の皆様への啓発を高めていただきたく思います。広報委員会も引き続き紙面の充実にかがけながら、防災についても警鐘を鳴らしていきたく思います。（西尾）

議会広報特別委員会

委員長 水上久美子
副委員長 黒田 武士
委員 堅田 府利 横畑 真治
西尾 智朗 辻 成紀